

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保管して下さい。

補中益気湯

(ほちゅうえっきとう)

第2類医薬品

本剤は、中国の金時代の四大家の一人李東垣の創方による補中益気湯に準拠して製造された煎薬用の紙パック剤です。



使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1)医師の治療を受けている人。
 - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3)高齢者。
 - (4)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - (5)次の症状のある人。：むくみ
 - (6)次の診断を受けた人。：高血圧、心臓病、腎臓病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
間 質 性 肺 炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミ オ バ チ ー	手足のだるさ、しびれ、つばり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝 機 能 障 害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 1ヵ月位（感冒に服用する場合には5～6日間）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

〔効能・効果〕

元気がなく、胃腸の働きがおとろえて疲れやすいものの次の諸症：虚弱体質、疲労倦怠、病後の衰弱、食欲不振、ねあせ。

〔用法・用量〕

大人（15才以上）は1包（1日量）につき水400mLを加え、あまり強くない火にかけ200mLに煮つめ、紙袋とともにかすを取り去り、食前1時間前又は食間空腹時に温服して下さい。小人（15才未満2才以上）は同様に煎じて食間空腹時に服用して下さい。

年 齢	1包(1日量) 煎じ液	1日服用回数	年 齢	1包(1日量) 煎じ液	1日服用回数
大人(15才以上)	全 量	3～2回 に分けて	7才未満4才以上	1/2量	3回に分けて
			4才未満2才以上	1/3量	
15才未満7才以上	2/3量	3回に分けて	2才未満	服用しないこと	

〈用法及び用量に関連する注意〉

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (2)用法・用量を厳守すること。

〔成分・分量〕 [本品1包（1日量）21.0g中]

日本薬局方 ニ ン シ ン	4.0g	日本薬局方 サ イ コ	1.0g
日本薬局方 ビャクジュツ	4.0g	日本薬局方 カ ン ソ ウ	1.0g
日本薬局方 オ ウ ギ	3.0g	日本薬局方 ショウキョウ	0.5g
日本薬局方 ト ウ キ	3.0g	日本薬局方 シ ヨ ウ マ	0.5g
日本薬局方 タ イ ソ ウ	2.0g	日本薬局方 チ ン ピ	2.0g

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)他の容器に入れ替えないこと。
- (4)煎じ薬は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用すること。



〔問い合わせ先〕

本製品についてのお問合せは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

東洋漢方製薬株式会社「お客様相談室」

電話 06-6211-4976

受付時間 10：00～17：00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度の問合せ先
（独）医薬品医療機器総合機構
電 話 0120-149-931

製造販売元

東洋漢方製薬株式会社

〒584-0022 大阪府富田市中野町東2丁目1番16号